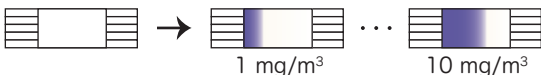


DT22 クロロベンジリデンマロノニトリル(CS)



実寸(約10cm)

感度	1 mg/m ³
吸引量	ハンドポンプ 30 回吸引(1 回 100 mL), 自動ポンプ 3 リットル(3L)
色変化	クロロベンジリデンマロノニトリルが存在する場合: 
反応原理	クロラニル[chloranil]との反応
解説	検知管は1つの指示層と1つのアンプル(試薬溶液入り)で構成されています。指示層は、クロラニル[chloranil]を含浸させた活性シリカゲルで形成されています。アンプルには、水酸化アンモニウム[ammonium hydroxide]とエタノールの混合物が含まれています。
検出方法	①検知管の両端を折る。 ②ハンドポンプで30回(1回 100 mL)または自動ポンプで3L 空気を送る。 ③アンプルを割る。 ④よく振り、アンプル内の薬剤を指示層に浸す。 ⑤色の変化を確認する。
選択性	ナイトロジェンマスタード HN-3 で同様の色となります。他の HN は赤～紫色となります。
干渉性	特記事項なし
温度	10～50 °C (10 °C以下では加熱が必要)
湿度	依存せず(反応過程で水が含まれるため)